

## 平成29年度 第3回府中市環境審議会会議録(要旨)

平成29年11月2日(木)  
午後6時半から午後8時半まで  
府中駅北第2庁舎3階第1会議室

- 1 出席委員 伊東準一委員、相馬佳子委員、吉武考三郎委員、堀江昭夫委員、増山弘子委員、宮地賢委員、表伸一郎委員、小西信生委員、玉山真一委員(副会長)、室英治委員(会長)(10名)
- 2 欠席委員 可兒晴樹委員、石谷真喜子委員、宮川力委員、榎本弘行委員、金子弥生委員
- 3 市出席者 前島環境政策課長、浦川環境政策課長補佐兼環境保全活動センター担当副主幹、宗村環境改善係長、環境改善係舟山
- 4 傍聴者 なし
- 5 講演 「VPP(バーチャルパワープラント)実証事業の紹介」及び「蓄電池システムの導入事例」
- 6 議事 第2次府中市環境基本計画の進捗状況について
- 7 資料 資料1 環境基本計画の進捗状況に関するご質問と回答  
資料2 第2次府中市環境基本計画 環境行動指針の進捗状況(抜粋)  
資料3 第2次府中市環境基本計画の進捗状況に関する答申書(案)

### 【議事内容】

- 事務局 第3回府中市環境審議会を開催する。会議前に配布資料を確認する。  
府中市環境審議会規則第5条第2項の規定により、定足数が過半数に達することで成立することとなっているが、本日の会議は出席委員数が過半数に達していることから、有効に成立している。  
傍聴について、府中市情報公開条例に基づき、原則公開となっているが、本日の傍聴希望者はいない。
- 事務局 それでは、次第に従って、会議を進める。次第の「2 講演」に入る。諮問事項である、「府中市における「スマートエネルギー都市」の実現に向けた施策の提案について」に係るご審議をいただく際のご参考とさせていただきたく、

民間事業者の事例紹介として、東芝エネルギーシステムズ株式会社及び東芝 I T コントロールシステム株式会社より、講師を招聘しご講演いただく。初めに、東芝エネルギーシステムズ株式会社 エネルギー I o T 推進室 室長 新貝英己氏から、「VPP (バーチャルパワープラント) 実証事業の紹介」について、お話を頂戴する。

新貝氏 (VPP (バーチャルパワープラント) 実証事業の紹介についての講演)

事務局 続いて、東芝 I T コントロールシステム株式会社 電気システム事業部 電機システム営業技術部 バッテリーシステム営業技術担当 主務 藤原淳氏から、「蓄電池システムの導入事例」について、お話を頂戴する。

藤原氏 (蓄電池システムの導入事例についての講演)

事務局 講演の内容について質問はあるか。

委員 本日この講演を行ったのは、スマートエネルギー都市として、市としてこういったことを行いたいからか。

事務局 スマートエネルギー都市の構築に向けて、諮問をさせていただいているところであるが、市としてどういったことを行うのかはまだ決定していない。府中市においてどういう方向性のものが適しているのかをご審議いただくため、具体的な事例について講演いただいたところであるが、必ずしもこれでなければいけないということではない。実際の事例を聞いていただき、こういったものであれば府中にも導入できるのではないかなど、検討の参考にしていただくため、本日は市内事業者の東芝にご協力いただき、講演を行っていただいた。

会長 技術的なところでお聞きしたい。リチウムイオン蓄電システムは、パナソニックが先行していたと思うが。

藤原氏 確かにパナソニックが先行していて、シェアも大きい。メーカーによって材料、作り方等に違いがある。東芝は、高性能な電池として展開している。

会長 自治体に太陽光発電システム、蓄電池を取り入れた設備を普及していくためには費用がかかるが、コストマネージメントはどのように考えているか。

藤原氏 今年度より、経済産業省から補助金を受給するための蓄電池システムの目標価格が設定されている。目標価格を下回った製品は補助金を受けられる。メー

カーとしても、その金額を目標にして進めている。

会 長 リサイクル、リフレッシュ技術の成熟度合はどのようになっているか。

藤原氏 定置型リチウムイオン電池のシステムが出始めて4、5年だが、東芝の電池はまったく劣化をしていないため、現時点でリサイクル、リフレッシュの問題は起きていない。しかし将来的なことを見据え研究所で研究は進めており、システムが普及してくれば制度化されていくと考えている。

会 長 有害物が入っているのか。

藤原氏 有害物はないが、石油類の電解液が入っている。製品レベルでは危険物には当たらないが、大量になると消防法、火災予防条例の審査を受ける対象になる。

委 員 今回は市内企業である東芝の方にいらしていただいているが、蓄電池システムとしてはパナソニック等、他のメーカーのものもあるということによいか。

藤原氏 パナソニック、ソニー、海外製品等もある。

委 員 環境、防災、産業振興等、すべての面を満たすのは、府中においては東芝ということではないかと思うが、補助金がなくても導入でき、性能もいいものをご提案いただきたい。また、横浜の事例を紹介していただいたが、府中では耐震の問題で現在の小・中学校の屋根に太陽光パネルをのせることはできない。府中に適した事業を提案してほしい。

藤原氏 本日はあくまで事例紹介であり、今後は府中に即した提案もしていきたい。

委 員 今回紹介いただいたシステムを本当に必要としているのは、頻繁に停電等がおきてしまう発展途上国ではないかと思うが、現時点ではコストがかなり高く、そういった地域が導入することは難しい状態にあるのではないか。

会 長 普及してくればコストも下がるのではないか。

事務局 本日東芝の方に来ていただいたのは、市として市内企業や市民の方々のお知恵をお借りし、市民協働という観点からも進めていきたいと考えていることや、スマートエネルギー都市というものが漠然とし過ぎていているため具体的な事例をご紹介いただきかったこと等からである。公平な視点でお話いただけたと考えており、この内容に縛られるものではない。審議を進めていくうえで、必要に応じて更なるご提案もいただけるものと考えている。

会 長 スマートエネルギー都市というものを学ぶにおいて、とても勉強になるよいお話であったと思う。

事務局 次第の「3 議題」に移る。ここから先の進行については会長にお願いする。

会 長 これから先は、私が議事を進行させていただく。  
「議題（1）第2次府中市環境基本計画の進捗状況」について、事務局から説明をお願いする。

事務局 （第2次府中市環境基本計画の進捗状況について、資料1に基づき説明）

会 長 資料1において、課題等が明確になっていると思う。続いて答申案について説明をお願いする。

事務局 （答申案について説明）  
昨年度までは報告という形で行っていたが、今年度から答申として上げていただくことになった。

委 員 最後の一文が長い。市民が読んで分かりにくいのではないかと。

事務局 もう少し平易な表現に修正する。

委 員 環境行動指針の項目について、目標を達成したものは多いのか。

事務局 現時点では目標達成したものはそれほどない。ただし、ごみ減量推進課の事業のように平成28年度で終了するようなものについては新たな目標設定をする必要がある。今後については達成度合いを見ながら、必要に応じて変更を行っていく。

委 員 答申は、市長に対して行うことになるので、答申書を読んだだけで内容がわかるよう全体的に修正してほしい。

会 長 答申書については事務局が修正をすることとし、その内容で、私と副会長から市長に提出することとする。

事務局 次回の審議会は2月を予定している。また別途連絡させていただく。

会 長 これで、本日の審議会は終了とする。